

# 学びのR

No. 6 (平成29年12月)  
埼玉県教育局南部教育事務所  
<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/g2201/index.html>

「R」は「Reform (改革)」の頭文字です

## \* ワークショップ型研修で授業改善 ③ \*

### ワークショップ型研修 その4 「多様な分析方法の組み合わせ」

\* ワークショップ型研修にはいろいろな手法があります。各手法のメリットを効果的に組み合わせた研修の進め方について紹介します。

#### 平成28年度 南部地区中学校授業研究会の実践

※「指導案拡大シート」と「マトリクス法」を組み合わせで授業を分析。

- 一班5～6人×6グループで編成。
- 授業前にとどの手法で分析するのかを説明し、授業を参観。
- 各グループで分析したことを発表。



発表する際は、①「指導案拡大シート」②「マトリクス法」の順とすることで、本時の流れに沿った分析から広い視野の分析へと、協議を深めることができます。

「指導案拡大シート」：授業展開を確認しながら児童生徒と教師の関わりを分析。

「マトリクス法」：事前に設定した視点(言語活動、見通しと振り返り等)について分析。

それぞれの分析方法のメリットとデメリットは以下の通りです。

- ◇「指導案拡大シート」：「導入→展開→まとめ」と授業の展開を踏まえながら学習活動と指導の関連を丹念に分析できる。しかし、本時だけの分析になりやすい。
- ◇「マトリクス法」：視点を明確にして協議をすることで、授業者が検討しなかった部分が明らかになる。しかし、それ以外の視点や、他の多様な要素・要因との関連については見えてこない。

多様な手法を組み合わせることでメリットが活かされ、デメリットが解消されます。



「指導案拡大シート」(右)と「マトリクス法」(左)による分析

## 平成29年度 学校訪問における研究協議の実践

※「指導案拡大シート」(上段) 「Y字チャート」(下段) による分析。



### 「ワークショップ型研修」の感想

- ・付箋を基に、全員で意見を出し合えるのがよい。
- ・一つの授業から、様々な見方や考え方を知ることができて、とても勉強になった。
- ・先生方と話し合うことで、自分の授業の改善点や方向性が見えた。早速、実践してみたいと思った。
- ・視点を明確にして参観したので、的を絞った協議ができた。
- ・本時のよかった点だけでなく、改善策についても話し合えたのがとてもよかった。
- ・改善策を話し合う中で、先生方のスキルを聞くことができ、とても参考になった。
- ・他の教科でも活用できそうな手立てを聞くことができたので、やってみたい。

⇒ ワークショップ型研修は、参加者の参画意識を高め、授業のよかった点や課題が明確になるなど、研修を充実するために有効です。



他にも、①「指導案拡大シート」、②「マトリクス法」、③「概念化シート」の3つを組み合わせることもできます。研究協議のねらいに応じて組み合わせ方を工夫してみたいはかがでしょうか。ぜひ、お試しください。

「学びのR」はこちらからも御覧いただけます！

